

資料の構成と使い方



本資料集の特徴

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のような参加体験型学習の実施が難しい状況下でも講座が実施できるよう、以下の点に配慮しています。

①講座の時間

- 可能な限り学習者が「密閉」された中で「密集」する時間が長くないように、プログラムの実施目安時間を40分としています。学習環境により、学習者同士で行う意見交換の回数や、ワークシートに取り組む作業時間等で、学習時間の調整が行えます。

②学習者の活動内容

- 学習者同士の「密接」を避けるために、意見の共有は、ファシリテーターが集約して学習者に伝えるなどとしています。プログラムの肝要なところ、学習者に気付かせたいところに意見交換の時間を絞り、プログラムのねらいが達成されるようにしています。

③プログラムの構成

- 様々な学習環境に対応できるように、アイスブレイキングとメインアクティビティとなるプログラムを分けて掲載しています。アイスブレイキングには、本資料集で対応するプログラムも併記しているので、ファシリテーターが自由に組み合わせて現況を考慮した学習プログラムが構築できます。

【ステップ1】

「学習のねらい」を決めましょう。



【ステップ2】

「プログラム」から、ねらいに合ったものを選びましょう。



【ステップ3】

「人権が尊重された雰囲気や環境づくりの手法」から、学習者の状況に合ったアイスブレイキングを選びましょう。

講座の実施会場や活動時間、学習者の人数等を考慮して、「密閉、密集、密接」を避けた学習プログラムを組み立てます。

「プログラム」の展開内に目安となる時間が記してあります。学習者が話し合う時間等で、講座の実施時間を調整することができます。

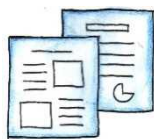


デジタルデータの活用

本資料集は、県内関係各所にデジタルデータ（CD-ROM）で配布しています。

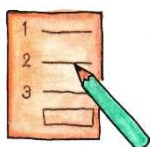
	本資料の説明	収録データ数
00	<ul style="list-style-type: none">・はじめに（表紙、はじめに、目次）・資料の構成と使い方・栃木県における人権教育の推進・参考（表紙イラスト、出典・参考一覧、編集委員、奥付）	・資料 4
01	プログラム1【その他の人権問題】 あなたならどうしますか？ 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別の現状を理解するとともに、感染の有無に関わらず、互いの人権を尊重していくことの大切さについて考えます。	・展開案 1 ・ワークシート 1 ・資料 4 ・スライド 1
02	プログラム2【子どもの人権】 たすけて、は見えにくい 児童虐待の実態について正しく理解するとともに、児童虐待をその家庭内だけの問題とするのではなく、社会全体の問題としてとらえ、私たちがそれぞれの立場でできることは何かについて考えます。	・展開案 1 ・ワークシート 1 ・資料 5 ・スライド 1
03	プログラム3【インターネットによる人権侵害】 見えてる？見えてない？ インターネット（特にSNS）による人権侵害は、相手の立場や思いを理解せず、見えている部分だけで判断することが一因となることに気付き、インターネットを利用する際、他者の人権を尊重するために心掛けたいことを考えます。	・展開案 1 ・ワークシート 2 ・資料 1 ・スライド 1
04	手法1【「新しい生活様式」における学習の手法】 新しい生活様式に基づいた学習を行うための手法として、「フィルムフォーラム」について紹介します。また、人権についての知識が深められる「人権に関する絵本・図書」を紹介します。	・展開案 1 ・ワークシート 1 ・資料・参考 4 ・スライド 1 ・図書紹介 1
05	手法2【「新しい生活様式」における人権が尊重された雰囲気や環境づくりの手法】 新しい生活様式において、学習環境が制限されている中でも活用できるアイスブレイキングを紹介します。関連するプログラムも併せて表記していますので、人権教育講座の雰囲気や環境づくりとして活用できます。	・展開案 10 ・ワークシート 2 ・資料 2 ・スライド 10

各フォルダには、「展開案」、「ワークシート」、「資料」、「スライド」の各データを収録しています。これらのデータを活用することで、資料の印刷などの準備作業が容易になるほか、スライドデータを投影しながら学習を進めることができます。



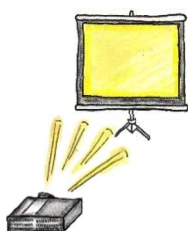
展開案

学習の展開や留意点などが確認できます。



ワークシート・資料

そのまま印刷して使用できます。



スライド

スライドのデータをプロジェクタ等で投影しながら学習を進行することができます。

※パソコン、プロジェクタ、スクリーンの準備が必要です。

CD-ROMに収録したファイルは読み取り専用で開きます。編集する際は、HDDやUSBメモリ等にファイルを保存して行ってください。



過年度の指導資料について

栃木県では、昭和53(1978)年度から、指導資料の作成を計画的に行っています。特に平成9(1997)年度から、参加体験型人権学習を中心とした実践的な人権意識を培うことができる社会同和教育指導資料を作成し、平成14(2002)年度以降は同和教育を人権教育として発展的に再構築し、「人権に関する社会教育指導資料」としてホームページに掲載しておりますので、御活用ください。

栃木県 人権 指導資料

検索



人権ワークショップ2019について

平成30(2018)年度から、人権に関する社会教育指導資料を県内関係各所にデジタルデータ(CD-ROM)で配布しています。講座で活用できるスライド(パワーポイント)も掲載されていますので、併せて御活用ください。

